

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：川島）（2組：川島）（3組：高橋）（4組：永井）（5組：高橋）（6組：永井）

使用教科書：（高等学校 言語文化 第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを上げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書					
歴史的仮名遣い 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。	・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 【教材】 ・第一学習社「精選 言語文化」 ・桐原書店「基礎から学ぶ解析古典文法 四訂版」	○		【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつとしている。	○	○	○	4
児のそら寝 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 【教材】 ・第一学習社「精選 言語文化」 ・桐原書店「基礎から学ぶ解析古典文法 四訂版」	○		【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合うとしている。	○	○	○	6
定期考査					○	○		1
絵仏師良秀 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話の人物造物の特徴を理解し、積極的に説話の面白さについて理解を深めようとしている。	・指導事項 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 【教材】 ・第一学習社「精選 言語文化」 ・桐原書店「基礎から学ぶ解析古典文法 四訂版」	○		【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話の人物造物の特徴を理解し、積極的に説話の面白さについて理解を深めようとしている。	○	○	○	6
品詞の活用 【知識及び技能】 ・動詞、形容詞、形容動詞の働きを捉えつつ、活用を理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用を単語や文中からも判断することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活にも動詞、形容詞、形容動詞に分類される言葉が多様にあることを理解し、身の回りのことと関連付けて学びに向かうことができるようにする。	【指導事項】 ・品詞の復習をしながら動詞、形容詞、形容動詞が用言であることこの理解が定着するよう指導する。 ・動詞の活用9種類、および形容詞の活用2種類、活用形の見分け方について指導する。 ・形容動詞の見分け方と活用について指導する。 【教材】 ・第一学習社「精選 言語文化」 ・桐原書店「基礎から学ぶ解析古典文法 四訂版」	○	○	【知識・技能】 ・動詞、形容詞、形容動詞の働きを捉えつつ、活用を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用を単語や文中からも判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活にも動詞、形容詞、形容動詞に分類される言葉が多様であることを理解し、身の回りのことと関連付けて学びに向かうおうとしている。	○	○	○	6
伊勢物語 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方をふまえて内容を解釈できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えられるようにする。	【指導事項】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。 ・「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 【教材】 ・第一学習社「精選 言語文化」 ・桐原書店「基礎から学ぶ解析古典文法 四訂版」	○		【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、この時代のもの見方や考え方をふまえて内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	14
定期考査					○	○		1

3 学 期	<p>敬語の種類と用法</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語と古語の敬語表現の共通点を理解できるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬語の種類と敬意の方向について判断できるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語の学習を通して現在の自分の言葉の使い方を振り返ろうとする。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬語表現の役割について指導する。 尊敬語、謙譲語、丁寧語の別についてや、補助動詞、二重敬語について指導する。 現代語における正しい敬語表現について指導する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桐原書店「探求 言語文化」 啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 復習問題や振り返りシートの提出など。 	○	○	○	○	○	○	○	6	
	<p>竹取物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解できるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を理解し内容を解釈できるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとする。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを指導する。 伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えられるよう指導する。 作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。 意味を理解できる語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	<p>論語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親むために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べる。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。 孔子のエピソードを調べて文章にまとめる課題に応じて調査する。 訓読のきまりを理解する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一学習社「精選 言語文化」 桐原書店「基礎から学ぶ解析古典文法 四訂版」 	○	○	○	○	○	○	○	○	6
定期考査											1
合計											
105											

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に

【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、!

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数と式、図形と計量、2次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力	・数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1章 数と式 式についての用語の意味を理解する。また、特定の文字や式の次数への着目を通して、式について多様な見方をすることができる。 連立不等式を解いたり、1次不等式を日常の事象の問題解決に活用したりすることができる。また、絶対値記号を含む基本的な方程式・不等式を解くことができる。	1 整式 2 整式の加法と減法、乗法 3 因数分解 4 実数 5 根号を含む式の計算 6 1次不等式 7 1次不等式の利用	【知識・技能】 ・式についての用語の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・式の一部を1つの文字のように見なしたり、1つの文字について整理したりするなど、見直しをもって複雑な式を因数分解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中学校で学んだ等式の性質と関連付けながら、不等式の性質を考えようとしている。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1
2章 集合と論証 命題や条件に関する基本的な概念を理解する。また、命題の真偽や条件どうしの関係を、条件が満たすもの全体の集合の包含関係と関連付けて考えることができる。 命題の逆・裏・対偶を理解し、対偶を利用した証明法や背理法を用いて簡単な証明をすることができる。	1 命題と条件 2 命題と証明	【知識・技能】 ・命題や条件に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・対偶を利用した証明法や背理法を用いて簡単な証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・命題の真偽や条件どうしの関係を、条件が満たすもの全体の集合の包含関係と関連付けて考えようとしている。	○	○	○	8
3章 2次関数 関数についての基本的な概念を理解する。また、定義域が制限された1次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 学校で学んだ $y=ax^2$ のグラフをもとに、一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフを書く方法を考察することができる。	1 関数とグラフ 2 $y=ax^2$ のグラフ 3 2次関数のグラフ	【知識・技能】 ・関数についての基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・2つの放物線の位置関係について頂点に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $y=ax^2$ のグラフをもとに、2次関数 $y=ax^2+2q$ 、 $y=a(x-p)^2$ 、 $y=a(x-p)^2+q$ 、 $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかく方法を考えようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
3章 2次関数 定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。また、日常の事象の問題解決に2次関数を活用することができる。 2次不等式を含む連立不等式を解くことができる。また、2次不等式を日常の事象の問題解決に活用することができる。	4 2次関数の最大と最小 5 2次関数の決定 6 2次方程式 7 グラフと2次方程式 8 グラフと2次不等式	【知識・技能】 ・定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの量の関係に着目して自ら変数を設定し、2次関数を利用して具体的な問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・鋭角の三角比の意味を三角形の構成要素間の関係に関連付けて理解している。	○	○	○	30
4章 図形と計量 鋭角の三角比の意味を三角形の構成要素間の関係に関連付けて理解し、様々な場面に応用することができる。 三角比の相互関係や $90^\circ - A$ の三角比について理解する。	1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張	【知識・技能】 ・定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係に着目し、三角比を利用して日常に関する問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとしている。	○	○	○	16
4章 図形と計量 三角形の辺と角、外接円の半径の間に成り立つ関係を考え、正弦定理を導くことができる。また、三角形の決定条件と関連付けて正弦定理を理解し、利用することができる。 三角形の面積を、三角比を用いて表す方法を理解する。また、円に内接する四角形の面積を求めることができる。	4 正弦定理・余弦定理 5 正弦定理と余弦定理の応用 6 三角形の面積 7 空間図形への応用	【知識・技能】 ・正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の辺と角の間に成り立つ関係として、余弦定理を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三平方の定理と関連付けながら、余弦定理を理解しようとしている。	○	○	○	12
5章 データの分析 ヒストグラムや箱ひげ図といったデータを整理する方法について理解し、それらからデータの傾向を把握することができる。 2つの変量の組からなるデータについて、散佈図および相関係数を用いて相関関係を捉えることができる。また、外れ値を知り、外れ値の統計量への影響について理解する。	1 データの分布とグラフ 2 分散と標準偏差 3 分散、標準偏差の性質 4 散佈図と相関係数 5 データの分析を利用した問題の解決	【知識・技能】 ・データをヒストグラムや箱ひげ図などに整理し、データの傾向を把握することができる。 【思考・判断・表現】 ・変量を変換した際に平均値、分散、標準偏差がどのように変化するかを考察し、それらの性質を利用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の事象を数学的に捉え、統計的手法を用いて問題解決を図ろうとしている。	○	○	○	9
						合計
						105

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

理科 科目 化学基礎

教科： 理科

科目： 化学基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： (1組：小坂) (2組：原) (3組：小坂) (4組：原) (5組：小坂) (6組：原)

使用教科書： (東京書籍「高等学校 化学基礎」)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを通して、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	習得した「知識・技能」を活用して、探究方法を習得させるとともに、科学的に探究する力を育てる。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1部 第1章 物質の構成 【知識及び技能】化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物等を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学と物質について問題を見だし、見通しを持って科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質の分離・精製、単体と化合物等に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集、授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】物質の分離・精製、単体と化合物等について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質の分離・精製、単体と化合物等について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質の分離・精製、単体と化合物等に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第1部 第2章 物質の構成粒子 【知識及び技能】物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表等を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】原子の構造、電子配置と周期表等における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】原子の構造、電子配置と周期表等に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集、授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】原子の構造、電子配置と周期表等の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】原子の構造、電子配置と周期表等について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】原子の構造、電子配置と周期表等に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
第1部 第3章 化学結合 【知識及び技能】物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のものを理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質と化学結合について問題を見だし、見通しを持って科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集、授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10	
定期考査			○	○		1	
2 学期	第2部 第1章 物質質量と化学反応式 【知識及び技能】物質質量と化学反応式について、物質質量や化学反応式等を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質質量と化学反応式について探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質質量と化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集、授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】物質質量と化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質質量と化学反応式について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質質量と化学反応式に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	第2部 第2章 酸と塩基 【知識及び技能】化学反応を通して、酸・塩基の性質や中和反応における量的関係を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応について探究し、酸・塩基や中和における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応について、酸・塩基に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集、授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】化学反応を通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸・塩基や中和について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸・塩基や中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
第2部 第3章 酸化還元反応 【知識及び技能】化学反応を通して、酸化と還元が電子の授受によることを理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応について探究し、酸化と還元における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応について、酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集、授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】化学反応を通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸化と還元について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14	
定期考査			○	○		1	
3 学期							合計
							70

年間授業計画 新様式

東久留米総合 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

保健体育

科目

体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1～6組：加藤） （1～6組：勝部） （1～6組：長岡） （1～6組：大塚） （1～6組：熊倉） （1～6組：齊藤）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】個々の運動能力や特性を把握した上で、各種目の技術力を向上させる

【思考力、判断力、表現力等】協働して実技を行い、ルールを把握し守る態度を身に付けさせる

【学びに向かう力、人間性等】自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けさせる

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の運動実践を通して、基礎的技術の習得や基礎体力の向上を図り、心身の頑健な発達を促す	公正・協力・責任等の態度を養う	生涯を通じて自ら継続的に運動ができる能力と態度を学ぶ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	オリエンテーション 体育理論 スポーツテスト	プリントを説明し、理解を深める。 多くの種目のルール把握する。 授業の心得・決まりの周知徹底させ、自らの課題として捉える。	観察、積極性	○	○	○	7	
	バドミントン バスケットボール 柔道 陸上 ダンス 体育祭練習	用具の安全な取り扱いを徹底し、事故防止を徹底する。 ラケットの基本動作を身に付ける。 柔道の基本 受身を習得する。 クラスの連帯感を深めると共に、体育祭の円滑且つ安全な運営につなげる。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	18	
	バドミントン バスケットボール 柔道 陸上 ダンス 水泳	用具の安全な取り扱いを徹底し、事故防止を徹底する。 基本的なボール操作を身に付ける。 柔道の基本 受身を習得する。 グループやチームで活動する。 近代4種目の内、クロール・平泳ぎを習得する。長く又は速く泳ぐ技能を身に付ける。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	21	
2 学期	バレーボール 水泳 柔道 陸上 ダンス ソフトボール	基本的なボール操作と空いたスペースやネット際の攻防を身につける。 柔道の礼法・受け身を中心とした基本動作を身につけ、投げ技・固め技の反復練習を行い習得する。 キャッチボールなどの基本練習と簡易ゲーム実施し、技能の向上を図る。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	41	
3 学期	持久走 バスケットボール	3～5キロの持久走を実施する。 連続した攻守の入れ替えの中で空間への侵入や連携した動きを身につける。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	18	
							合計	105

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

芸術

科目

美術Ⅰ（選択必修）

教科：芸術

科目：美術Ⅰ（選択必修）

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～

6組

教科担当者：儀部 佳織・佐藤 未来

使用教科書：（高校の美術1

）

教科 芸術

の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ（選択必修）

の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ねる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション 色の課題	絵具の基本的・適切な使い方を身に付ける。色の基本についての再確認。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 取り組みはプリントにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
	・自分の好きな漫画の1ページを模写する。 ・教科書の作品発表（鑑賞）	絵を不得意とする生徒であっても、1つ1つの工程を丁寧に行うことで、制度の高い作品ができることを体感する。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
	定期考査						
	・凄ロク ・教科書の作品発表（鑑賞）	実際にスゴロクで遊ぶことにより、アイデアを膨らませる。また、グループでの話し合いにより、制作の方向性を決めていく。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
	・凄ロク ・教科書の作品発表（鑑賞）	チームワークを大切に、試行錯誤しながら作品を作り上げる。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	6
定期考査							
2 学期	・自分の好きな漫画の1ページを模写する ・教科書の作品発表（鑑賞）	絵を不得意とする生徒であっても、1つ1つの工程を丁寧に行うことで、制度の高い作品ができることを体感する。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	12
	後期 オリエンテーション 心を灯すあかり（ランプシェード）	・色の仕組み・構成 色相環を作る ・透視図法 一点透視、2点透視、4点透視図法を使い街並みを描く。 ・レタリング 永字六法からさまざまな文字を文書体で表現する。 ・切り絵 ・染色 マーブルング、折り染 ・陶芸粘土で土台作り	【知識・技能】 自分の思いを、あかりの効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作する。 【思考・判断・表現】 自分の思いを、あかりの効果を考えて、文字、染色、切り絵により工夫して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、あかりの効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作し友達の良さをワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はワークシートにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	10

3 学 期	<p>マイデザイン ステンシルバックをつくらう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色の仕組み・構成 色相環を作る ・透視図法 一点透視、2点透視、3点透視図法を使い街並みを描く。 ・レタリング 永字六法からさまざまな文字を文書体で表現する。 ・切り絵からステンシル版画 	<p>【知識・技能】 自分の思いを、身近な持ち物による効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作する。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の思いを、文字、染色、切り絵により工夫して表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、染色、切り絵により工夫して制作し友達の良さをワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はワークシートにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。</p>	○	○	○	6	
	<p>陶芸・木彫レリーフ</p>	<p>花鳥風月をテーマに、彫刻刀を使って自然物や風景を木彫りする。</p>	<p>【知識・技能】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに粘土や木材で彫刻刀等で工夫して制作する。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに粘土や木材で彫刻刀等で工夫して表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに工夫して制作し友達の良さをワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はワークシートにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。</p>	○	○	○	12	
							合計	
								70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：入山 ）（2組：入山 ）（3組：入山 ）（4組：入山 ）（5組：入山 ）（6組：入山 ）

使用教科書：（光村図書 書 I ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を

養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や所の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	仮	漢						
1 学 期	<p>A 書写から書道へ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 臨書・鑑賞・創作の理解 用具用材の理解 それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈</p>	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解できている。 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。 主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 	○	○	○	6
	<p>B 文字の造形を学ぶ【楷書】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 書風の違いを理解させる。 九成宮醜泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて 牛欄造像記 鄭義下碑 <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品</p>	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。 	○	○	○	20
	<p>C 古典を生かした創作</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組みようとしている。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、字書</p>	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組みようとしている。 	○	○	○	12

2 学 期	<p>D 文字の造形を学ぶ【行書】【草書】【隷書】【篆書】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 	<p>○指導事項</p> <p>書体の違いを理解させる。</p> <p>【行書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭亭序 ・風信帖 ・三筆・三跡について <p>【草書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真草千字文 <p>【隷書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曹全碑 <p>【篆書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泰山刻石 <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨、毛氈、参考作品</p>			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。 	○	○	12
	<p>E 漢字仮名交じりの書を書く</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考作品の臨書 ・創作 <p>○教材</p> <p>小筆、硯、文鎮、紙、墨、毛氈、参考作品</p>			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を習得できている。 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫できた。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫できた。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養うことができている。 	○	○	8
3 学 期	<p>F 仮名の書を書く</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立や種類 ・筆使い、平仮名、変体仮名、連綿について理解させる ・書風の違いを理解させる。 ・蓬萊切 ・高野切第三種 ・三色紙 ・構成方法の理解 ・散らし書き ・行書き <p>○教材</p> <p>小筆、硯、文鎮、紙、墨、毛氈、参考作品</p>			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	○	○	8
	<p>G 好きな言葉を書こう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	<p>○指導事項</p> <p>創作</p> <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨、毛氈、参考作品、字書</p>			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	○	○	4
						○	○	合計
								70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和7年度（1学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションI

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションI 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1～6組：関野）（1～6組：三輪）（1～6組：磯貝）

使用教科書：（BIG DIPPER English Communication I ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】本文の内容を読み取ったり、聞き取ったりするのに必要な基本的知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりできる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的にペアで話し合ったり、発表しようとしている。また、学習について振り返りができる。

科目 英語コミュニケーションI の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
本文の内容を読み取ったり、聞き取ったりするのに必要な基本的知識・技能を身に付ける。	本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりできる。	本文に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、主体的にペアで話し合ったり、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。学習について振り返りができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ き ）					
1 学 期	Lesson 1 ・朝食について、概要を把握することができる。 ・朝食に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Have a good day with a good breakfast ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	Lesson 2 ・町おこしについて、概要を把握することができる。 ・町おこしに関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・A Mascot with a Mission ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
	Lesson 3 ・様々なリーダーについて、概要を把握することができる。 ・リーダーに関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Two Kinds of Leadership ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	Lesson 4 ・スポーツについて、概要を把握することができる。 ・スポーツに関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Older Sports and Newer Sports ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
2 学 期	Lesson 5 ・AIについて、概要を把握することができる。 ・AIに関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・AI Meets the Arts ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	Lesson 6 ・幸福について、概要を把握することができる。 ・幸福に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・What Is Happiness? ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
	Lesson 7 ・観光について、概要を把握することができる。 ・観光に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・The Maldives: A Dream Destination? ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	Lesson 8 ・人物について、概要を把握することができる。 ・人物に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
3 学 期	Lesson 9 ・環境について、概要を把握することができる。 ・環境に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・From Recycle to Upcycle ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	Lesson 10 ・平等について、概要を把握することができる。 ・平等に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Diversity at Japanese Companies ・教科書、プリント、ベーシックノート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	観察、発表、ノート記入、ワークシート記入	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
										合 計	105

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

外国語

科目 論理表現Ⅰ

教科： 外国語

科目： 論理表現Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：千野）

（2組：関野）

（3組：千野）

（4組：関野）

（5組：千野）

（6組：関野）

使用教科書：（ Standard Vision Quest English Logic and ExpressionⅠ ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 言語活動を通じて日常的社会的な話題について基本的で適切な語句を用いて表現するための文法力・構成力を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 言語活動を通じて日常的社会的な話題について情報を整理しながら考えや意見などを形成し、論理の構成や展開を工夫して適切に伝えたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 言語活動を通じて日常的社会的な話題に関して表現した内容について質疑応答をしたり感想や意見を伝え合うことができる。

科目 論理表現Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的社会的な話題について基本的で適切な語句を用いて表現するための文法力・構成力を身に付けることができる。	実際に英語を用いた言語活動を通じて日常的社会的な話題について情報を整理しながら考えや意見などを形成し、論理の構成や展開を工夫して適切に伝えたりすることができる。	実際に英語を用いた言語活動を通じて日常的社会的な話題に関して表現した内容について質疑応答をしたり感想や意見をペアやグループで伝え合うことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
Lesson1 【知識及び技能】 文の種類 【思考力、判断力、表現力等】 応答・理由を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 クラブ活動や趣味をペアで紹介することができる。	・ I want to introduce my new friend. ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	5
Lesson2 【知識及び技能】 文型と動詞 【思考力、判断力、表現力等】 賛成・反対を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭についてペアと話すことができる。	・ Do you want to join our show? ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	5
定期考査								○	○		1
Lesson3 【知識及び技能】 時制 【思考力、判断力、表現力等】 激励・計画を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 旅行の経験についてクラスに話すことができる。	・ I'm planning a day trip this weekend. ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	4
Lesson4 【知識及び技能】 完了形 【思考力、判断力、表現力等】 経験を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツや音楽の経験をペアで伝え合うことができる。	・ Have you ever tried it before? ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	4
Lesson5 【知識及び技能】 助動詞 【思考力、判断力、表現力等】 許可・義務を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 将来の夢をグループで伝え合うことができる。	・ What do you want to do after high school? ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	6
定期考査								○	○		1

